

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1057	(H.24)No.	1057
-----------	------	-----------	------

事務事業名		子ども支援センター費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
子ども部		子ども家庭室		田中 康生	63-7594
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	192501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	子ども支援センター費	
項	児童福祉費	(小事業名)	
目	児童福祉総務費	子ども支援センター費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張市子ども支援センターかがやきの運営管理 施設の運営に当たっては、運営委員会において協議し、子育て支援に関する各種相談事業や研修会を開催するとともに、親子が交流できる場を提供しています。</p> <p>主な事業 ・広場事業 ・子育て講座、講演会の開催 ・相談事業 ・一時預かり事業調整 ・子育てに関わる情報発信等 ・子育てサークル等の育成支援活動</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>子育て支援の拠点施設として、親子が出会いを通して交流しあえる場、子ども同士が育ちあえる場、市民の子育て参加の場を提供し、子育て中の親への支援を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<p>総来館者数29,167人 かがやきフェスタ参加者404人(151組) 身体計測959件・健康相談109件・歯科相談148件 子育て相談467件(内21件記録記載)</p>	<p>総来館者数29,200人 かがやきフェスタ参加者410人 身体計測960件・健康相談110件・歯科相談150件・子育て相談記録記載30件</p>	補助金・交付金	その他 ()	
直接事業費	3,058千円	2,884千円	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
財源内訳(千円)			名張市子ども支援センターかがやきの運営管理	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理
国庫支出金	1,529	1,442	2,800千円	2,800千円	2,800千円
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 1,529	1,442	1,400	1,400	1,400
人工数					
職員(人)	0.82	2.11	2.11	2.11	2.11
臨時職員等(人)	4.21	2.39	2.39	2.39	2.39
概算人件費	(0千円) 13,143千円	19,614千円	19,614千円	19,614千円	19,614千円
+ 総事業費	(0千円) 16,202千円	22,498千円	22,897千円	22,897千円	22,897千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	子育て広場参加者数	-	-	-	-	197,500
	実績		38,772	36,188	39,886	43,966	
活動指標	目標	講座・講演会事業参加者数 (絵本の読み聞かせ・ふれあい遊びは除く)	-	-	210	215	220
	実績		206	263	329	268	
活動指標	目標	子育て支援ボランティア養成事業 ボランティア登録総数	-	-	60	60	65
	実績		49	60	60	62	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> 父親の子育てへの参画が積極的になってきている。 市主催の研修会の託児実施(2回) 小・中・高・大学生の積極的な受入れを実施した。 地域の広場への協力要請が増え対応した。 来館者がイベントの企画に参画する回数が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 開館後10年を経て、目的達成のための取り組みが少しずつ実を結んできていると感じる。 現在の職員体制で様々な事業を実施するには、ボランティアの育成と協力が必要である。また、来館者も自ら活動を企画していただけるような体制を作る。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> サークルのあり方が検討される時期にきている。(親のニーズの変化) 関係機関との連携強化を図る。(発達支援センター・家庭児童相談室・マイ保育ステーション・健康支援室など) 	<ul style="list-style-type: none"> サークル連絡協議会は行政に子育て世代が意見を届ける一つの窓口である。存続を強く希望されている。 自動車に乗れない人の子育て支援施設の利用のあり方が問われている。(マイ保育ステーションの拡充などの検討) 子育て支援の中核施設としてのかがやきの重要性。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	退職後の保育士や看護師などのボランティアへの登録依頼を実施し、日常的に業務への協力を依頼する。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	各関係機関との連携を強化し、それぞれの役割の整合性を図る。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	地域の広場事業への積極的な参画と新たな広場開設への協力体制を整える。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	すでに実施している部分もあるが、今年度実施の広場もあり、次年度開催予定の広場などへの協力予定である。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	職員の資質向上を図る。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
できる限りボランティアの協力を促して、来館者や相談者が増えつつある状況を踏まえ様々な事業を展開していく。子育ての不安感などを少しでも軽減でき、少子化への歯止めがかかるような目的を持ち、支援の中核的な役割を果たすよう努める。

特記事項